



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familye.ne.jp/~k-itou/index.html>

値上げ
した

介護保険料

「高すぎる！」の声

介護保険料軽減制度

介護保険料の通知書をご覧ください。
あなたの保険料年額は？

- 第1段階 (年額32760円)
- 第1段階B階層 (年額16680円) に
- 第2段階 (年額38880円)
- 第2段階B階層 (年額20640円) に
- 特例第3段階 (年額43560円)
- 特例第3段階B階層 (年額38880円)
- 特例第3段階C階層 (年額20640円) に
- 第3段階 (年額50160円)
- 第3段階B階層 (年額43560円)
- または第3段階C階層 (年額43560円) に

対象者

- 24年度区民税非課税世帯
- 区民税課税者に扶養されていない (税法上の扶養家族になっていない)
- 介護保険料を滞納していない
- 世帯の23年中の年間収入の合計額と、預貯金の合計額それぞれが基準以下であること

申請期間 8月31日まで
9月以降に申請すると申請月からの対象となるのでお早めに！

「昨年より6052円上がった」(70歳女性)
「3万円上がった。年を重ねて病院に行く回数が多くなって支出が多いのに、その上年金は減り、介護保険は2倍位上ってしまっただけで生活が成り立たなくなるのでは心配で夜も眠れないでいる。何を減らして生活すれば良いのかと思う。結局食費を減らし体をこわし悪循環だと思う」(66歳女性)



は言っています。これです。もう少しだけでも負担を減らすための介護

介護保険料の値上げ通知が「音痴き」高すぎるの原が絶してします。足立区の今年度予算は、介護保険料を値上げしないでも大分減らさないと明らかになった中で、値上げが強行されました。介護のお金も、その分を区一般財源に回すこと

「9月から介護保険料が毎月1500円上がるのは年金が減っている中痛い」(65歳男性)
「私は介護保険なんて使えなくてよいので払いたくない」(65歳)
区民アンケートの回答より

保険料の軽減制度を知りませう。申請しないと安くありません。ぜひ利用してみてください。

第3段階(世帯非課税)以下の場合には申請すれば減免される制度があります

「防災の名で軍事訓練」



自衛隊の災害出動は関係自治体が要請して監視請求が行われています。

区議団は7月12日、針谷区議団長と伊藤区議が緊急申し入れを行いました。内容は陸上自衛隊が16、17日に首都直下地震発生時の訓練を名目に、迷彩服を着た隊員が初めて23区の一部区役所に宿泊する問題で足立区長に行ったものです。

自衛隊は軍事作戦と指摘し、練馬区では隊員の宿泊に伴う区の支出が地方財政法に反すると区民による監視請求が行われています。

日本共産党足立区議団が緊急申し入れ

こんなに上がった！
第3段階(世帯全員が住民税非課税)の場合でも年金から毎回天引きされる平均額

H21~23年	3280円
H24~26年	4180円

原爆・平和・戦争を考える展示会

8月7日~10日
足立区役所1階アトリウム
展示パネル「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」ほか、ビデオ上映・足立区の被爆者の証言ビデオ、「人間をかえせ」「予告」「はだしのゲン」「黒い雨」など
主催・足立区原爆被爆者の会、足立区、足立区教育委員会

さようなら原発! 11万人が代々木公園に

2012年7月16日



7月16日、大江健三郎、坂本龍一、瀬戸内寂聴さんら著名9名の呼びかけによる「さようなら原発10万人集会」が行われ、歴史的な集会に私・伊藤も参加しました。会場には若者や子育て世代の家族が沢山参加。炎天下のなか1時半にスタートしたパレードは人の波が長く続き代々木公園から渋谷・新宿へと、夜まで首都東京の街は「原発NO!」の声で響き渡りました。いま取り組んでいる区議団・区民アンケートに寄せられた「原発・放射能に関する」声の一部を紹介します。

区民アンケートの声・声・声

「安全性がないのに動かす意味が分からない。他のエネルギー資源を考えるべき。福島はまだ大変な状態なのに、動かすのが信じられません」(42歳女性)

「福島の現状を考えたら、もっとベストを尽くして、この国で平和に安全に安心して暮らしていける方法を見たい」(60歳女性)

「あまりにも電気に頼っている。もっとエコライフの生活をする事が必要」(80歳女性)

「福島原発のトラブルが今でも続いています。しかし野田という名の政治屋さんは昨年暮れに終息宣言を出しました。厚顔無恥。言葉もありません。経済効果を第一に考え、日本のような火山列島の上に原発のような危険なものを造った自民政権とそれに気付かなかった国民。今となってはもう後戻りではできません。原発が廃止されるのを祈るのみです。」(60歳男性)

「飲食物の放射能汚染が心配です。今年の3月までは高濃度の汚染食品が大手を振って流通していたのです。4月から規制が厳しくなりましたが政府の言うことは、まったく信用できません。果物・野菜・肉・魚etcなども同じです。輸入品の農薬の過剰使用と国産品の放射能汚染のどちらのリスクが健康と安全なのか。毎日生きた心地がしません。」(37歳女性)

「原発は昔から疑問を感じていました。やむを得ない理由や、それなりの利点を認めたとしても、再稼働の判断は拙速すぎる。そら恐ろしいものを感じます」(48歳男性)

足立区立千寿第五小学校(児童数三三七七人)の保護者と周辺住民ら64人が10日、区や建築業者に学校の統廃合計画に基づく臨時校舎建築やプール解体工事の禁止を求める仮処分を、東京地裁に申し立てしました。

申立書によると、区は千寿第五小と約三百メートル離れた五反野小(児童数四二二人)を来年4月に統合。五反野小の新校舎が完成する二〇一五年四月まで、千寿第五小の校庭にあるプールを解体してプレハブの臨時校舎を増設し、両校児童が一緒に利用するといわれています。

保護者側は千寿第五小の児童数は増加傾向で、少数校を対象とした統廃合の必要がないと指摘。新校舎完成まで両校の児童約七五〇人が国の基準を大きく下回る広さの校庭を利用することは教育環境として悪く、地域住民にとっては災害時の避難場

統廃合前提の工事差止仮処分を 千五小保護者64人が提訴



千五小は国道4号線に面しており、大震災時には帰宅困難者を受け入れた学校です。

学校の適正規模・適正配置計画ガイドラインにもとづいて、学校統廃合を強引に強行しようとしています。人口が減ってもない学校を無理やり統合することが問われています。

所を失うことになる」と主張しています。区教委は、裁判所の決定を待たずして解体工事を進めようとしており、18日、日本共産党は地元の浅子議員らと共に教育長に緊急申し入れを行いました。

解説 区教委は21年7月に策定した足立区